

学校法人ISI学園 専門学校東京ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	医療通訳基礎 I		(TCM123)
講義名（コード）	TCM_医療通訳基礎 I		(TCM123A)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	4
授業担当者	劉琦	時間数	60
成績評価教員	劉琦	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	医療従事者として現場で即戦力となる確かな知識と技術を持ち、異文化に対する理解と医療の倫理観を備え、通訳者としての適切な言語運用力とコミュニケーション力を身につけた人材になる。
全体的内容と概要	前期では主に4段階に分けて初歩的な訓練を行う。(1)発音の訓練8時間。朗読のレベル：中国語北京語は準アナウンサー、日本語標準語は流暢で訛りがほぼない。(2)ヒヤリングの訓練8時間。練習問題を1回聞いて50%、2回聞いて80%ぐらい理解できる。(3)記憶の訓練8時間。日本語10秒前後の内容は1度聞いて80%、20秒前後の内容は2度聞いて80%ぐらい記憶できる。(4)上記3段階の訓練修了後、日常会話の通訳訓練28時間。上記のほか、(5)期末試験4時間、試験問題の解説4時間。(6)課題3回
授業時間外の学修	毎日必ず日本語のニュースを聞く。
履修上の注意事項等	通訳の文字資料および音声や動画資料を配布する場合は必ず予習しておくこと。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	朗読の訓練：正確な発音、流暢さ、適切な音量、大勢の前で落ち着いた態度	中国語の朗読：正確な北京語の発音および日本語の朗読：正確な標準語の発音
2	朗読の訓練：正確な発音、流暢さ、適切な音量、大勢の前で落ち着いた態度	日本語の朗読：正確な標準語の発音
3	記憶の訓練：10秒前後の内容は1度聞いて70%、20秒前後の内容は2度聞いて70%ぐらい記憶できる。	中国語の練習問題および日本語の練習問題、音声の書取
4	記憶の訓練：10秒前後の内容は1度聞いて70%、20秒前後の内容は2度聞いて70%ぐらい記憶できる。	日本語の練習問題、音声の書取
5	ヒヤリングの訓練：練習問題を1回聞いて50%、2回聞いて80%ぐらい理解できる。	N2やN1あるいは留学生試験のリスニング問題
6	ヒヤリングの訓練：練習問題を1回聞いて50%、2回聞いて80%ぐらい理解できる。	N2やN1あるいは留学生試験のリスニング問題
7	幅広い日常会話の通訳ができる。	日常会話を耳で聞いて通訳する。
8	幅広い日常会話の通訳ができる。	日常会話を耳で聞いて通訳する。
9	幅広い日常会話の通訳ができる。	日常会話を耳で聞いて通訳する。
10	活字資料を朗読、通訳できる。	厚生労働省の医療通訳練習問題を朗読して通訳する
11	活字資料を朗読、通訳できる。	厚生労働省の医療通訳練習問題を朗読して通訳する
12	活字資料を朗読、通訳できる。	厚生労働省の医療通訳練習問題を朗読して通訳する
13	活字資料を朗読、通訳できる。	厚生労働省の医療通訳練習問題を朗読して通訳する
14	期末テスト	期末テスト：一人ひとり教室に入り試験を受ける
15	テスト問題の解説	テスト問題の答え合わせと解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	「医療通訳」一般財団法人 日本医療教育財団 著（厚生労働省配布） その他適宜配布
備考	練習問題（活字、音声、映像など）を配布する